

[31] 文學研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2556564>

出版情報：文學研究. 31, 1942-06-30. 九州文學會
バージョン：
権利関係：

一般語學

文學關係諸會合

英語 Arnold Bennett : *Literary Taste*

中山助教

獨語 M. Scheler : *Mensch und Geschichte*

佐藤助教

獨語 初歩

佐藤助教

佛語 Octave Feuillet : *La Roman d'un jeune homme pauvre*

永田講師

佛語 初歩

永田講師

羅句語 初歩

小林講師

希臘語 初歩

田中助教

伊太利語 初歩

武藤助教

支那語

松枝助教

文科卒業論文題目

—昭和十六年十二月提出—

日本語並びに朝鮮語の有聲、無聲及び有氣音に關する實驗的研

究 木原南山

大阪江戸間の海運 杉本直喬

淨土教成立の一考察 阿部光章

江戸の文藝作品より觀たる「うきよ」の形態 石川正典

平安朝女流日記研究—生活内容の解明— 野中勳

トマス、ハアデイ作「郷人の歸來」の研究 鹽田環

スタンダールの文學覺書 富士本啓示

ロバト、ブラウニング「パラセルサス」序論 安田元

九大國文學會

新入生歡迎會 四月十四日。三畏閣桐ノ間に於いて會長高木教授、前會長長春日名譽教授をはじめ卒業生等多數出席のもとに開會、今年度は四名の新入生を迎へ、會長の祝詞、會員の自己紹介等あり盛會裡に八時過終了。

春季ハイキング 若草萌ゆる基山に會長高木教授に引率され卒業生、新入生を加へて賑かに登山。山頂にて歌の朗詠等あり。

例會 六月二日。三畏閣桐ノ間。今回は猪股未秋氏の「荷風の著作二三を讀みて—文學と倫理—」と題する研究發表あり。

古典研究會 今年度は鷗外研究よりはじむ。隔週土曜十時より十二時迄。

第一回 四月九日。鷗外初期の作品に就いて。「舞姫」「うたかたの記」「文つかひ」等合評)

第二回 五月廿三日。鷗外中期の作品について。「雁」「キタ、セクスアリス」「青年」等合評)

第三回 六月十三日。鷗外後期の作品について。(歴史物合評、並に「歴史文學」及び「文學と大衆性」の問題につき考察)

九大英文學會

九大英文學會春季例會は新入生三名の歡迎會を兼ねて昭和十七年六月七日正午より福岡市奉公館で開催。豊田教授、中山助教授卒業生學生多數出席、歡談を交へ三時過終了。

九大文友會

新入會員歡迎會 五月廿七日。午後五時より三長閣桐ノ間に於いて教官助手副手學生五十名出席のもとに開催、自己紹介餘興などあり盛會裡に終了。

受贈雜誌

- 國語研究 (國語學研究會)
- 日本語 (日本語教育振興會)
- 中國文學 (中國文學研究會)
- 英文學 (東北帝國大學文科會)
- 英語研究 (研究社)
- 基督教研究 (基督教研究會)
- 天の川發行所 (天の川發行所)
- ハ、キ木 (帶木の會)
- 民間傳承 (民間傳承の會)
- 國民精神文化 (國民精神文化研究所)
- 土佐史談 (土佐史談會)
- 心の花 (竹柏會出版部)
- 書滲 (北京近代科學圖書館)
- 國語國文 (京都帝國大學國文學會)
- 國民評論 (國民評論社)

- 寶生 (寶生發行所)
- 長崎談叢 (長崎史談會)
- 山口商學雜誌 (山口高商商學會)
- 工業現勢 (東京工業大學)

「文學研究」發行年月一覽表

第一輯	昭和七年三月	第十七輯	昭和十一年十月
第二輯	昭和七年十月	第十八輯	昭和十一年十二月
第三輯	昭和八年二月	第十九輯	昭和十二年五月
第四輯	昭和八年三月	第二十輯	昭和十二年十月
第五輯	昭和八年七月	第二十一輯	昭和十二年十一月
第六輯	昭和八年十月	第二十二輯	昭和十三年三月
第七輯	昭和九年一月	第二十三輯	昭和十三年十月
第八輯	昭和九年五月	第二十四輯	昭和十三年十二月
第九輯	昭和九年十月	第二十五輯	昭和十四年六月
第十輯	昭和九年十二月	第二十六輯	昭和十四年十二月
第十一輯	昭和十年四月	第二十七輯	昭和十五年七月
第十二輯	昭和十年七月	第二十八輯	昭和十六年三月
第十三輯	昭和十年十月	第二十九輯	昭和十六年八月
第十四輯	昭和十年十二月	第三十輯	昭和十六年十二月
第十五輯	昭和十一年四月	第三十一輯	昭和十七年六月
第十六輯	昭和十一年七月		